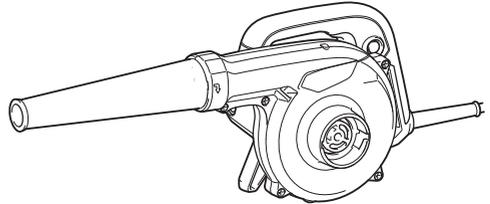


Makita

取扱説明書

ブロワ

- ☐ モデル MUB401
- ☐ モデル MUB402
(無段変速)



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびはブロワをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

| | |
|-----------------------|----|
| ・ 主要機能 | 3 |
| ・ 電動工具共通の安全上のご注意 | 5 |
| ・ ブロワ安全上のご注意 | 9 |
| ・ 各部の名称および標準付属品 | 11 |
| ・ 別販売品のご紹介 | 12 |
| ・ 使い方 | 13 |
| ・ スイッチの操作 | 13 |
| < MUB401 > | |
| ・ スイッチの使い方 | 13 |
| ・ 連続運転の操作方法 | 13 |
| < MUB402 > | |
| ・ スイッチの使い方 | 14 |
| ・ 回転数の調整 | 14 |
| ・ 連続運転の操作方法 | 14 |
| ・ ノズルやダストバッグを取り付けての作業 | 15 |
| ・ ちり払い作業をされる場合 | 15 |
| ・ 吸い込み作業をされる場合 | 16 |
| ・ サッシノズル | 17 |
| ・ 保守・点検について | 18 |
| ・ カーボンブラシの交換 | 18 |
| ・ 本機のお手入れ | 18 |
| ・ ご修理の際は | 18 |

主要機能

| 主要機能 | | モデル | MUB401 | MUB402 |
|------|------|-----|---|---|
| 電動機 | | | 直巻整流子電動機 | |
| 電圧 | | | 単相交流 100 V | |
| 電流 | | | 6.3 A | |
| 周波数 | | | 50-60 Hz | |
| 消費電力 | | | 600 W | |
| 回転数 | | | 16,000 min ⁻¹ (回転 / 分) | 0 ~ 16,000 min ⁻¹ (回転 / 分) |
| ブロウ | 最大風量 | | 4.1 m ³ /min (m ³ /分) | 0 ~ 4.1 m ³ /min (m ³ /分) |
| | 風速 | | 91 m/s (m/秒) | 0 ~ 91 m/s (m/秒) |
| 集じん | 最大風量 | | 4.1 m ³ /min (m ³ /分) | 0 ~ 4.1 m ³ /min (m ³ /分) |
| | 真空度 | | 5.7 kPa (580 mm 水柱) | 0 ~ 5.7 kPa (0 ~ 580 mm 水柱) |
| 機体寸法 | | | 長さ 480 mm × 幅 185 mm × 高さ 178 mm | |
| 質量 | | | 1.8 kg | |

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

シンボルについて

製品および取扱説明書にシンボルマークを掲載しております。このシンボルマークの意味をご理解のうえご使用ください。



取扱説明書をよくお読みいただき内容を十分ご理解のうえご使用ください。



不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



第三者を近づけないでください。



作業時は常に保護メガネを使用してください。

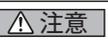


本機の清掃または保守点検の前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

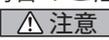
ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - 感電する恐れがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ すべりやすい場所での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

⚠ 警告

2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
5. 電動工具の保守点検をしてください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感ずる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ブロワとして、さらに次の注意事項を守ってください。

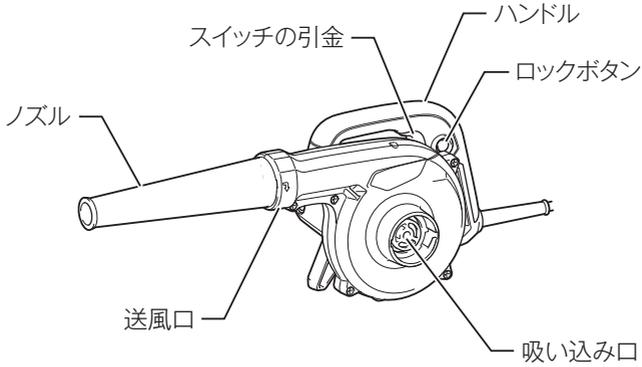
⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。また、漏電しゃ断器の設置された電源に、接続することをおすすめします。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 小さい子供やペットのいるそばで使用しないでください。また小さい子供には使用させないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
3. むれたゴミや鋭利なガラス、刃物、クギ、ネジ、火の付いたタバコの吸い殻などを吸わせないでください。
 - ・ 故障や火災の原因になります。
4. ガソリン、ガス、塗料、接着剤などの引火性のある危険物の近くでは、使用しないでください。また、それらを吸い込ませないでください。
 - ・ 引火または爆発の原因になります。
5. 本機の送風口や吸入口に手を入れないようにしてください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 吸い込まれる可能性のある、だぶついた衣服や装飾品を身に付けしないでください。髪の毛が長い場合は、吸入口から距離をとってください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 使用中は保護メガネをご使用ください。また作業環境により、安全靴、保安帽、マスクなどもご使用ください。
8. 使用中にノズルの先端を人に向けたり、くずなどを人に吹き付けたりしないでください。
 - ・ 事故の原因になります。
9. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が生じたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
10. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
11. 本機の利用者が他の人や他の人の財産に対して、本機に不備が無い事故や、損害を与えた場合はその責任を負う義務があります。

⚠ 注意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 運転させたまま、放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 送風口や吸入口をふさいだり、ノズルの先端を絞り込んだ運転をしないでください。また、吸入口にはくずなどをためないようにしてください。
 - ・ けがやモータの発熱などによる破損の原因になります。間違った使用例：
 - ・ ノズルの先に小径のホースを取り付ける
 - ・ ボールやゴムボートの空気入れとして使う
4. 集じん作業前に必ずダストバッグが本機に取り付けられていることを確認してください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 取付ボルトおよびネジの点検
本機を正しく、安全にお使いいただくためにも、ボルトやネジの締まりを点検して、ゆるんでいたら確実に締め直してください。
6. 本機は、延長コードを使用しないでください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ サッシノズル
部品番号 413769-1



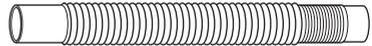
- ・ ジョイント
部品番号 454704-0



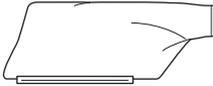
- ・ ノズルアッセンブリ
部品番号 123245-4



- ・ フレキシブルホース
部品番号 410208-2

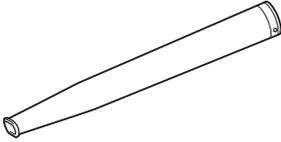


- ・ ダストバッグ
部品番号 123241-2



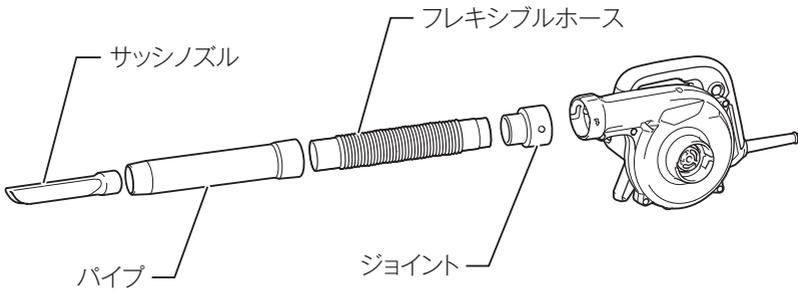
別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ ロングノズル
部品番号 123246-2
- ・ アンカーノズル
部品番号 192236-6



※吸い込み作業にお使いください。

- ・ フレキシブルホースセット品
部品番号 196643-5



- ・ ガーデンノズルセット品
部品番号 A-57043



使い方

スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

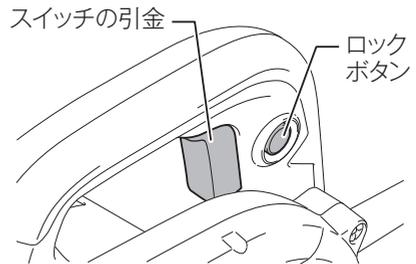
< MUB401 >

スイッチの使い方

- ・ スイッチはスイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。

連続運転の操作方法

- ・ スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
- ・ 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



使い方

< MUB402 >

スイッチの使い方

- ・ スイッチはスイッチの引金を引くと入り、離すと切れます。
- ・ スイッチの引金の引き加減により、お望みの回転数が得られます。

回転数の調整

- ・ スイッチの引金をいっぱいに引いたときの回転数を変えたい場合は、スピード調整ネジを回します。
- ・ スピード調整ネジは右に回すと速くなり、左に回すと遅くなります。

連続運転の操作方法

- ・ スイッチの引金をいっぱいに引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
- ・ 停止させるには、もう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから引金を離してください。



使い方

ノズルやダストバッグを取り付けての作業

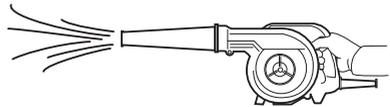
⚠ 警告

ノズルや付属品の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

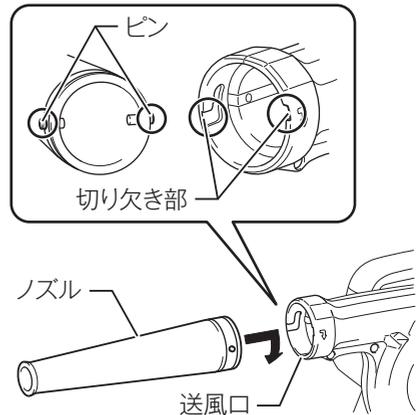
注

- ・ 作業するときは片手で本機のハンドルを保持してください。



ちり払い作業をされる場合

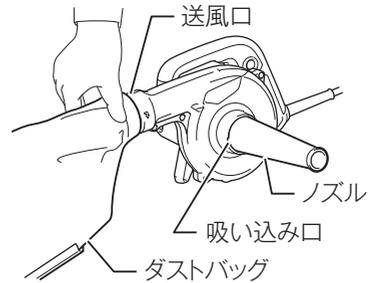
- ・ ノズルを必ず送風口に取り付けてください。
- ・ ノズルの取り付け方は、ノズルの外側に出ているピンを本機の切り欠き部に合わせて差し込み、ノズルを力チツとロックするまで右に回して固定します。
- ・ 取りはずすときは、ノズルを左に回して引いてください。
- ・ ちり払いされるものにノズルの先端を向けてスイッチを入れます。



使い方

吸い込み作業をされる場合

- ・ ノズルを吸い込み口に、またダストバッグを送風口に取り付けてください。
- ・ ダストバッグの取り付け方は、ノズルの取り付け方と同じ方法です。
- ・ 吸い込みされるものにノズルの先端を近づけ、スイッチを入れてください。



注

- ・ ネジやクギなどを吸わないようにしてください。故障の原因になります。
- ・ ダストバッグにゴミがたまりましたら、本機からダストバッグを取りはずし、ファスナを引き抜き、ゴミを捨ててください。



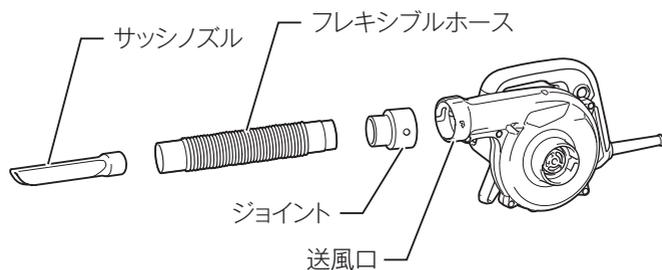
注

- ・ ダストバッグにゴミがたまりすぎると、吸じん力が弱くなります。ゴミは早めに捨ててください。

使い方

サッシノズル

- ・ サッシの溝や家具の隙間など、手狭な所の作業に便利です。



- ・ ノズルの代わりに、ジョイント、フレキシブルホース、サッシノズルの順に本機に取り付けて使用してください。

注

- ・ 吸い込み作業をされる場合は、ダストバッグを必ず送風口に取り付けて作業してください。

保守・点検について

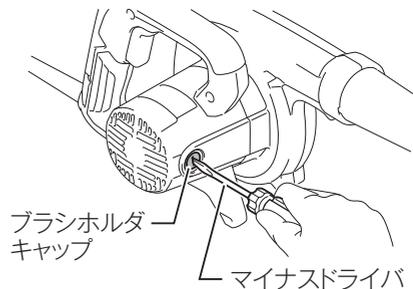
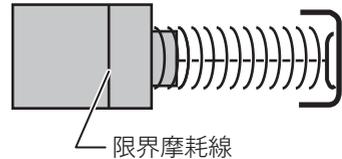
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは時々、取りはずして点検してください。
- ・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。
- ・ このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
- ・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ マイナスドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。
- ・ カーボンブラシは2コで1組になっております。取り替える場合は、必ず左右とも同時に行ってください。



本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882806C6
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)